

令和2年度 残土受入工事リスト

令和2年 9月

沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課

残土受入工事リスト【搬入】（北部地区）

件数	残土受入工事名	残土受入工事場所	工事予定期間 年 月～年 月	搬入 搬出 の別	用途別使用土砂 [単位:m3]							部(所)名	備考	
					工作物の埋戻し材料	土木構造物の裏込材	道路盛土材料	河川築堤材料	宅(用)地造成用材料	水面埋立用材料	—			計
					建設残土等の工事現場外への搬出量(現場内処理量は除外して下さい。)[単位:m3]									—
	残土発生工事名	残土発生工事場所	工事予定期間 年 月～年 月		ズリ(碎石等)							部(所)名	備考	
					砂、レキ	掘削土	砂質土・レキ質土	通常の粘性土	その他の粘性土	浚渫土砂	—	計		
1	平成31年度数久田ICランプ橋下部工(P1～P3基礎、A2)及び道路改良工事	名護市世富慶地内	R1.6.25～R2.9.30	搬入	12,000							12,000	北部国道事務所 工務課	
	数久田仮置場A	名護市数久田地内	R2.6.1～R2.6.30	搬出	12,000							12,000		仮置場から搬入
	受入可能土量			受入可能								0		
2	令和元年度後原迂回路設置工事	名護市源河地内	R2.1.21～R2.7.20	搬入			2,050					2,050	北部国道事務所 工務課	
	世富慶仮置場	名護市世富慶地内		搬出			2,050					2,050		仮置場から搬入
	受入可能土量			受入可能								0		
3	平成30年度名護東道路4号トンネル工事	名護市数久田地内	H30.10.11～R2.7.31	搬入	2,330							2,330	北部国道事務所 工務課	
	数久田仮置場	名護市数久田地内		搬出	2,330							2,330		仮置場から搬入
	受入可能土量			受入可能								0		
4	平成30年度世富慶IC改良工事	名護市世富慶地内	H31.3.30～R2.3.27	搬入	16,742							16,742	北部国道事務所 工務課	
	現場内仮置場①	名護市世富慶地内		搬出	1,733							1,733		仮置場から搬入
	現場内仮置場②	名護市世富慶地内		搬出	2,073							2,073		仮置場から搬入
	平成30年度名護東道路4号トンネル工事	名護市数久田地内	H30.10.11～R2.7.31	搬出	12,936							12,936		
	受入可能土量			受入可能								0		
5	平成30年度世富慶IC改築(その2)工事	名護市世富慶地内	H31.3.30～ R2.3.31	搬入	16,912		6,150					23,062	北部国道事務所 工務課	
	平成30年度名護東道路4号トンネル工事	名護市数久田地内	H30.10.11～R2.7.31	搬出	16,912							16,912		
	平成30年度数久田高架橋下部工(上りA1・P2)及び地盤改良工事	名護市数久田地内	H31.3.22～R2.3.23	搬出			6,150					6,150		
	受入可能土量			受入可能								0		
6	平成31年度数久田IC地盤改良工事	名護市世富慶地内	R1.5.29～R2.5.15	搬入	2,844							2,844	北部国道事務所 工務課	
	平成30年度名護東道路4号トンネル工事	名護市数久田地内	H30.10.11～R2.7.31	搬出	2,844							2,844		
	受入可能土量			受入可能								0		
7	平成31年度数久田ICランプ橋下部工(P1～P3基礎、A2)及び道路改良工事	名護市世富慶地内	R1.6.25～R2.9.30	搬入	1,640							1,640	北部国道事務所 工務課	
	平成30年度名護東道路4号トンネル工事	名護市数久田地内	H30.10.11～R2.7.31	搬出	1,640							1,640		
	受入可能土量			受入可能								0		
合計				搬入	52,468	0	8,200	0	0	0	0	60,668		
				搬出	52,468	0	8,200	0	0	0	0	60,668		
				受入可能								0		

注) 1. 左端番号記入欄には、情報交換登録の番号を記入。未登録工事については「-」を記入。

注) 2. 使用土量(上段)が搬出土量(下段)を上回る場合は、備考(上段)に処理方法を記入。

注) 3. 残土発生工事が複数の場合は下段を必要数使用する。(下段を増やす場合は下段をコピーし挿入してください。)

残土受入工事リスト【搬入】（中部地区）

件数	残土受入工事名	残土受入工事場所	工事予定期間 年 月～年 月	搬入 搬出 の別	用途別使用土砂 [単位:m3]							部(所)名	備考	
					工作物の埋戻し材料	土木構造物の裏込材	道路盛土材料	河川築堤材料	宅(用)地造成用材料	水面埋立用材料	—			計
					建設残土等の工事現場外への搬出量(現場内処理量は除外して下さい。)[単位:m3]									—
	残土発生工事名	残土発生工事場所	工事予定期間 年 月～年 月		掘削土砂	掘削土砂	掘削土砂	掘削土砂	掘削土砂	掘削土砂	掘削土砂	部(所)名	備考	
					ズリ(碎石等)	砂、レキ	砂質土、粘土質土	通常の粘性土	その他の粘性土	浚渫土砂	—	計		
1	R2d中城湾港(新港地区)泊地(-11.0m)浚渫工事	沖縄県沖縄市泡瀬地先 埋立地	R2.8～R3.1	搬入						116,513		116,513	那覇港湾・空港整備事務所 中城湾港出張所	埋立地へ搬入予定
	R2d中城湾港(新港地区)泊地(-11.0m)浚渫工事	沖縄県沖縄市地先	R2.8～R3.1	搬出						116,513		116,513	那覇港湾・空港整備事務所 中城湾港出張所	
	受入可能土量			受入可能								0		
				搬入								0		
				搬出								0		
	受入可能土量			受入可能								0		
合計				搬入	0	0	0	0	0	116,513	0	116,513		
				搬出	0	0	0	0	0	116,513	0	116,513		
				受入可能								0		

注) 1. 左端番号記入欄には、情報交換登録の番号を記入。未登録工事については「-」を記入。

注) 2. 使用土量(上段)が搬出土量(下段)を上回る場合は、備考(上段)に処理方法を記入。

注) 3. 残土発生工事が複数の場合は下段を必要数使用する。(下段を増やす場合は下段をコピーし挿入してください。)

残土受入工事リスト【搬入】（南部地区）

件数	残土受入工事名	残土受入工事場所	工事予定期間 年 月～年 月	搬入 搬出 の別	用途別使用土砂 [単位:m3]							部(所)名	備考	
					工作物の埋戻し材料	土木構造物の裏込材	道路盛土材料	河川築堤材料	宅(用)地造成用材料	水面埋立用材料	—			計
					建設残土等の工事現場外への搬出量(現場内処理量は除外して下さい。)[単位:m3]									—
	残土発生工事名	残土発生工事場所	工事予定期間 年 月～年 月		掘削土砂							部(所)名	備考	
					ズリ(碎石等)	砂、レキ	砂質土・レキ質土	通常の粘性土	その他の粘性土	浚渫土砂	—	計		
4	平成30年度与那原2号橋下部工(下りP3,P4)工事	沖縄県与那原町与那原地内	H30.11～R2.7	搬入			7,660					7,660	南部国道事務所	仮置場から搬入予定(R2.2頃)
	仮置き場より搬出予定(R2.6頃)	沖縄県与那原町与那原地内		搬出			7,310					7,310		仮置き場より搬出予定(R2.6頃)
	令和元年与那原地区道路改良(その1)搬入R2.3	沖縄県与那原町与那原地内		搬出			350					350		令和元年与那原地区道路改良(その1)搬入R2.3
	受入可能土量			受入可能								0		
2	R2d那覇港(新港ふ頭地区)港湾施設用地外1件工事	沖縄県那覇市港町地先	R2.5～R3.1	搬入						19,733		19,733	那覇港湾・空港整備事務所	土砂仮置場から搬入
	R2d那覇港(新港ふ頭地区)泊地(-12m)浚渫工事	沖縄県那覇市港町地先	R2.8～R2.12	搬出						15,630		15,630	那覇港湾・空港整備事務所	
	土砂仮置場	沖縄県浦添市西洲1丁目 仮置場	R2.5～R3.1	搬出						4,103		4,103	那覇港湾・空港整備事務所	
	受入可能土量			受入可能								0		
3	R2d那覇港(新港ふ頭地区)港湾施設用地外1件工事(第2次)	沖縄県那覇市港町地先	R2.5～R3.1	搬入						30,855		30,855	那覇港湾・空港整備事務所	土砂仮置場から搬入
	R2d那覇港(新港ふ頭地区)泊地(-12m)浚渫工事	沖縄県那覇市港町地先	R2.8～R2.12	搬出						23,440		23,440	那覇港湾・空港整備事務所	
	土砂仮置場	沖縄県浦添市西洲1丁目 仮置場	R2.5～R3.1	搬出						7,415		7,415	那覇港湾・空港整備事務所	
	受入可能土量			受入可能								0		
				搬入								0		
				搬出								0		
	受入可能土量			受入可能								0		
合計				搬入	0	0	7,660	0	0	50,588	0	58,248		
				搬出	0	0	7,660	0	0	50,588	0	58,248		
				受入可能								0		

- 注) 1. 左端番号記入欄には、情報交換登録の番号を記入。未登録工事については「-」を記入。
 注) 2. 使用土量(上段)が搬出土量(下段)を上回る場合は、備考(上段)に処理方法を記入。
 注) 3. 残土発生工事が複数の場合は下段を必要数使用する。(下段を増やす場合は下段をコピーし挿入してください。)

残土受入工事リスト【搬入】（宮古地区）

件数	残土受入工事名	残土受入工事場所	工事予定期間 年 月～年 月	搬入 搬出 の別	用途別使用土砂 [単位:m3]							部(所)名	備考
					工作物の埋戻し材料	土木構造物の裏込材	道路盛土材料	河川築堤材料	宅(用)地造成用材料	水面埋立用材料	—		
	残土発生工事名	残土発生工事場所	工事予定期間 年 月～年 月		建設残土等の工事現場外への搬出量(現場内処理量は除外して下さい。)[単位:m3]							部(所)名	備考
					掘削土砂				浚渫土砂	—	計		
					ズリ(碎石等)	砂、レキ	砂質土、レキ質土	通常の粘性土	その他の粘性土				
				搬入							0		
				搬出							0		
	受入可能土量			受入可能							0		
	合計			搬入	0	0	0	0	0	0	0		
				搬出	0	0	0	0	0	0	0		
				受入可能							0		

注) 1. 左端番号記入欄には、情報交換登録の番号を記入。未登録工事については「-」を記入。

注) 2. 使用土量(上段)が搬出土量(下段)を上回る場合は、備考(上段)に処理方法を記入。

注) 3. 残土発生工事が複数の場合は下段を必要数使用する。(下段を増やす場合は下段をコピーし挿入してください。)

残土受入工事リスト【搬入】（石垣地区）

件数	残土受入工事名	残土受入工事場所	工事予定期間 年 月～年 月	搬入 搬出 の別	用途別使用土砂 [単位:m3]							部(所)名	備考
					工作物の埋戻し材料	土木構造物の裏込材	道路盛土材料	河川築堤材料	宅(用)地造成用材料	水面埋立用材料	—		
	残土発生工事名	残土発生工事場所	工事予定期間 年 月～年 月		建設残土等の工事現場外への搬出量(現場内処理量は除外して下さい。)[単位:m3]							部(所)名	備考
					ズリ(碎石等)	掘削土砂			浚渫土砂	—	計		
						砂、レキ	砂質土、レキ質土	通常の粘性土	その他の粘性土				
				搬入							0		
				搬出							0		
	受入可能土量			受入可能							0		
	合計			搬入	0	0	0	0	0	0	0		
				搬出	0	0	0	0	0	0	0		
				受入可能							0		

注) 1. 左端番号記入欄には、情報交換登録の番号を記入。未登録工事については「-」を記入。

注) 2. 使用土量(上段)が搬出土量(下段)を上回る場合は、備考(上段)に処理方法を記入。

注) 3. 残土発生工事が複数の場合は下段を必要数使用する。(下段を増やす場合は下段をコピーし挿入してください。)

残土受入工事リスト【搬入】（県内離島地区）

件数	残土受入工事名	残土受入工事場所	工事予定期間 年 月～年 月	搬入 搬出 の別	用途別使用土砂 [単位:m3]							部(所)名	備考	
					工作物の埋戻し材料	土木構造物の裏込材	道路盛土材料	河川築堤材料	宅(用)地造成用材料	水面埋立用材料	—			計
	残土発生工事名	残土発生工事場所	工事予定期間 年 月～年 月		建設残土等の工事現場外への搬出量(現場内処理量は除外して下さい。)[単位:m3]							部(所)名	備考	
					掘削土砂				浚渫土砂	—	計			
					ズリ(碎石等)	砂、レキ	砂質土、レキ質土	通常の粘性土						その他の粘性土
				搬入								0		
				搬出								0		
	受入可能土量			受入可能								0		
	合計			搬入	0	0	0	0	0	0	0	0		
				搬出	0	0	0	0	0	0	0	0		
				受入可能								0		

注) 1. 左端番号記入欄には、情報交換登録の番号を記入。未登録工事については「-」を記入。
 注) 2. 使用土量(上段)が搬出土量(下段)を上回る場合は、備考(上段)に処理方法を記入。
 注) 3. 残土発生工事が複数の場合は下段を必要数使用する。(下段を増やす場合は下段をコピーし挿入してください。)